



広報

みなみいず

2023

1

No. 631



謹賀新年

- ・ P02～03 町長の新年挨拶
- ・ P04～05 12月定例会行政報告
- ・ P06 要介護認定を受けた方への各種控除について
- ・ P07 口座振替のすすめ、地域おこし協力隊 など

令和5年 新年のご挨拶

南伊豆町長 岡部克仁



あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたことと心からお喜び申し上げますとともに、今年も南伊豆町政へのご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

特に新型コロナウイルス感染防止については、3年間に渡り多くの制限が課される中、皆さまが感染防止対策を徹底してくださったおかげで、本町では感染の拡大を抑える事ができました。皆さまのご協力に重ねて御礼申し上げます。

令和4年を振り返って

さて、令和4年を振り返りますと、何といても12月に開催され23回目を迎えた静岡県市町対抗駅伝競走大会において、素晴らしい走りを見せてくれました12人の選手とサポート選手、監督とコーチ陣そしてご家族を始めとし、応援してくださった皆さまのおかげで、町の部6位入賞とふるさと賞をダブル受賞したことは記憶に新しいと思い

ます。大会当日、私は草薙総合運動場のスタジアムで観戦していましたが、南伊豆町のアンカーである山本陽介選手が競技場に入ってきたときは感動に震えました。7月から5カ月に及ぶ練習の成果を発揮し、本大会で全員がベストを尽くしてくれたことによる素晴らしい結果だと思います。

10月には3年ぶりにフェスタ南伊豆が開催され、過去最高の人出の中、恒例の南伊豆中学校ソーラン隊や東京高円寺阿波おどり連、富岳太鼓、大抽選大会のほか、新たな試みとして南伊豆町公認アンバサダーのまなまるによるピアノライブ、二村広美氏によるフラメンコの披露、餅まき等を企画し開幕からフィナーレまで終始賑わいました。新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う自粛続きでしたが、この日は子供から高齢者までが快晴の秋空の下でコロナを忘れて楽しめる1日になったと確信しています。

4月には歴史と伝統ある旧南崎小学校跡で運営していました南崎認定こども園を南伊豆認定

こども園へ統合し一園化しました。一園化することでよりいっそう保育環境の充実に努めます。

2月、早春の南伊豆恒例のみなみの桜と菜の花まつりは、全国的な新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い大変厳しい中で開催となりましたが、およそ23万5,000人の来誘客を迎えてにぎやかに開催されました。令和4年はこれまでより10日ほど開幕を早め、2月1日からの開催となりましたが、寒さの影響で桜の開花が若干遅れ中旬から見頃となったものの、いつ見ても「みなみの桜」は見応えがあり、とても素晴らしいものでした。

また、菜の花は桜よりも少し早く年明けから咲き誇ったため、新年早々菜の花畑は賑わっており、多くの方に喜んでもらえたと感じています。

人口減少対策について

人口減少は全国的に大きな課題となっています。直接的な人口増加につながる移住定住の施策も大切ですが、最も大切なこ

とは南伊豆で生まれ育ち、進学等で町外へと出ていった若者が故郷である南伊豆町へ戻ってくるのだと考えています。

若者が南伊豆町に戻ってくるために一番大事なものは「働く場所」です。ここ、南伊豆町は山と海の距離が近く平地が少ないため、大きな工場や産業地帯として栄えることは期待できません。

しかし、南伊豆の特色を活かした企業誘致に取り組むことで少しずつでも雇用を創出していきますので、全町を上げての企業誘致にご協力をお願いいたします。

また、人口減少と併せて少子化が全国的に大きな問題となっており、言うまでもなく子供は町の宝です。この宝を守り、育むための子育て環境の充実と子育て支援は南伊豆町の最重要政策ですので保育料の無償化などさらなる子育て支援を推進し、保護者の皆さまが安心して就労、できるような環境づくりを進め引き続き子供たちが輝いていられる町づくりを目指します。

観光業について

町の主産業である観光業はコロナウイルス感染拡大の影響で大きな打撃を受けました。伊勢海老まつり宿泊割引キャンペーンやみなみの桜と菜の花まつり宿泊割引キャンペーンのほか、国や県が補助する旅行支援等の効果もあり、徐々にではありますが観光に訪れる方も増加傾向にあるようです。

今年も令和4年と同じく2月1日からみなみの桜と菜の花まつりが開催されますが、メイン会場となる道の駅「下賀茂温泉湯の花」の温室等を解体整備し、物販や飲食、イベントなどによる新たな賑わいの拠点となるよう準備を進めていますので、多くの方のご利用をお待ちして

います。

また、恒例の「伊勢海老まつり」、「伊勢海老づくしの特別な日」、「フェスタ南伊豆」、「みちくさウルトラマラソン」に加え昨年からは始まった「SUP & Paddleboard選手権大会」の開催が予定されています。この選手権大会を昨年勝ち抜いた選手が世界大会で金、銀、銅のメダルを獲得していますので、今年は昨年以上に盛り上がる大会になるでしょう。併せて、今年の大会では子供たちにSUPの楽しさを知ってもらうためのキッズスクールも企画したいと考えていますので、ご期待ください。

そのほかにも、県外の学校法人が所有していた加納地区のテニスコートを町で取得し、横並び6面の全天候型コートとして整備を進めてきましたが、遂に令和4年11月末に正式オープンしました。このテニスコートは、町民の方だけでなく町外の高校や大学のテニス部などによる合宿での利用も見込まれており、町内テニスの活発化に伴う町民の健康増進のほか、合宿の誘致に伴う宿泊業への経済効果などが期待できます。

ふるさと寄附について

町の財源獲得手段としてふるさと寄附を増やす取り組みも大変重要だと考えています。

全国各地の南伊豆ファンからいただいたふるさと寄附金は、子育て支援やインフラ整備、福祉の向上等多方面での利活用ができる貴重な財源であり、南伊豆町としては総力を結集して獲得に努めてまいりますので、皆さまにおかれましても町外に在住のご親族さまやお知り合いの方にぜひとも南伊豆町のふるさと寄附をご紹介くださいますようお願い申し上げます。

新年の抱負

本年、令和5年は^{うさぎ}卯年であります。皆さまはウサギについてどのようなイメージをお持ちでしょうか。多分、ほとんどの方が「優しい」、「かわいい」、「跳ねる」等を連想するのではないかと思います。ウサギは穏やかで温厚な性質の動物ですので「家内安全」の象徴で、よく跳躍する姿から「飛躍」、「向上」するとして親しまれてきました。

私は卯年生まれで今年は年男となります。文字通り卯年男ですので、今まで通り飛び跳ねまわってトップセールスを行い、日本国内すべてはもとより外国とも親交を深め、1人でも多くの方に南伊豆町の素晴らしさを伝えることで南伊豆ファンとなっていだけよう尽力します。

そして、南伊豆ファンになっていただいた方からさまざまな場面で応援してもらえるようになれば「家内安全」、「南伊豆町内安泰」となること間違い無しです。

いまだ新型コロナウイルス感染症の収束は見え感染拡大の第8波も心配される状況ではありますが、皆さまには引き続き感染防止対策へのご協力をお願い申し上げるとともに、まだまだ寒い日が続きますので体調には十分ご注意ください。

結びに本年が皆さまにとって健康で素晴らしい年となることと、我々が南伊豆町の繁栄を心から祈念いたしまして、新春のごあいさついたします。本年もよろしくお願いいたします。

令和5年1月1日
南伊豆町長 岡部克仁

南伊豆町議会 12月定例会



令和4年南伊豆町議会12月定例会が令和4年11月29日(火)～30日(水)の会期で開催されました。

令和4年南伊豆町議会12月定例会の開会にあたり、令和4年9月定例会以降の主な事項について行政報告を申し上げます。

1. 新型コロナウイルスワクチン接種について

本町では、オミクロン株対応のワクチン接種を令和4年9月24日から開始し、4回目接種が完了した60歳以上の高齢者および60歳未満で基礎疾患のある方々への5回目接種を実施しています。

また、新たに対象となった生後6カ月から4歳児に対してのワクチン接種についても個別接種を実施しており、近隣市町での集団接種も活用するなど接種機会の確保に努めているところです。

現下においては、感染症第7波の収束後外国人観光客の受け入れ拡大や各種大型イベントの開催など、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた動きが加速するなかで、令和4年11月以降は感染者数が増加傾向にあり第8波到来も懸念されていますので、感染リスク・重症化リスクを低減させるためにも積極的なワクチン接種に取り組んでいきます。



2. 南伊豆町×スルガ銀行 自転車振興に関するパートナーシップ協定について

令和4年10月21日にスルガ銀行株式会社と「自転車振興に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

本協定は、南伊豆町とスルガ銀行株式会社が相互に連携することで、南伊豆町におけるサイクルツーリズム等自転車を活用した地域活性化および観光振興に寄与することを目的としています。

具体的には、本町をPRするためのサイクリングイベント、インドアイベントおよびWebによる情報発信の企画・運営などで連携・協力を図るもので、地域振興と連携したサイクルツーリズムを推進するスルガ銀行株式会社の協力を得ながら、自転車の機動性を活かしたきめ細やかな観光スポット等の情報を発信し、より多くのサイクリストや観光客の来訪を期待するものです。

3. 第19回フェスタ南伊豆について

令和4年10月16日に役場を会場として「第19回フェスタ南伊豆」が開催され、天候にも恵まれ多くの来場者で賑わいました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて3年ぶりの開催となったことから、例年よりも開催時間を延長し、ステージ演目の充実や車両展示エリアの拡大、キッチンカー導入や投げ餅など新たな取り組みも実施しました。

車両展示エリアでは、これまでの起震車体験や警察車両の展示に加え、陸上自衛隊の高機動車、スバル社の電動車いす、東京電力の高所作業車も展示し、高所作業車の体験乗車では高く上がったバケットの中から笑顔で手を振っている子供たちの姿が印象的でした。

また、下賀茂商店街では南伊豆中学校の生徒有志によるソーラン節のほか、杉並区「高円寺阿波おどり連」に加え、本町「ゆうすげ連」による阿波おどりが披露され、会場内での輪踊りには多数の町民の皆さまも加わり一緒に阿波踊りを楽しんでいました。

今回初めてとなるフラメンコ公演では、あまりなじみのないフラメンコが住民の皆さまに受け入れられるのか不安もありましたが、軽快な音楽と歌に合わせ華やかな衣装に包まれた踊り手による陽気かつ情熱的な踊りに多くの方が魅了されていました。

なお、例年好評である塩尻市の新鮮な野菜・ワイン等の販売については、コロナ禍のため不参加だったことが大変残念でありましたが、ご参加をいただきました関係者各位のご協力により会場内は最初から最後まで多くの来場者で賑い盛況を博しました。

ご協力を賜りましたすべての皆さま方に深く感謝申し上げますとともに、交通規制等にご協力いただいた町民の皆さまに厚く御礼を申し上げます。



4. 商工・観光振興について

(1) 第5弾みなみいず応援プレミアム付商品券の発行

長引く新型コロナウイルス感染症の影響と、原油・物価高騰などにより低迷する地域経済の活性化を目的とし、「第5弾みなみいず応援プレミアム付商品券」の販売を決定しました。当該事業の委託先である南伊豆町商工会では、令和4年10月25日から各地区での販売を開始しており、令和4年11月11日時点で14,774セットが販売されたとの報告を受けています。

なお、商品券の販売期日は明日11月30日^{※1}までとなりますので買い忘れの無いよう周知に努めていきます。

(2) ふるさと寄附金の状況

令和4年度におけるふるさと寄附の状況では、10月末現在の寄附総額では5,958万1,602円(対前年比101%)、寄附件数で4,474件(対前年比113%)となっており、寄附額は前年並みではありますが寄附件数では514件の増加となっています。

これら要因としては、ポータルサイト内の写真編集や首都圏ケーブルテレビのCM放映のほか同加入世帯へのチラシ・パンフレットの配布、大手ポータルサイトによる独自キャンペーンなどに加えて、安定的な人気を誇る「冷凍イチゴ・アワビ・伊勢エビ」とともに、新たにブレイクの兆しが見えるミカンなど、本町の魅力ある特産品のPR事業が浸透してきたものと考えられます。

今後も、さらなる寄附者獲得に向けてより効果的な施策を展開してまいりますので皆さまのご理解とご協力をお願いします。

(3) 秋期観光イベントの取り組み

通年集客力が弱いとされる秋期においては、毎年「伊勢海老まつり」を展開し誘客強化に取り組んできました。本年度においても、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「宿泊割引キャンペーン」を展開するなかで、予定の1,500泊分が即日予約超過となったため、9月定例会において500泊分の追加補正予算をご承認いただいたところです。

また、令和4年10月9日には石廊崎オーシャンパークを会場とし、観光協会による「伊勢海老づくしの特別な日」も開催されました。交流自治体である南相馬市、小千谷市、東吾妻町、北塩原村の各首長さまのご参加を仰ぎ、公認アンバサダーの永藤まなさん、メロンシートさんのほか、YouTuberの「しーちゃんねる」さんのライブショーなども行われ、伊勢海老みそ汁の無料配布サービス、生き伊勢海老のプレゼント大抽選会などに多数の来訪者が集い、活況のなかで南伊豆の秋を満喫していただきました。

加えて、11月の恒例イベントとして定着しつつある「みちくさウルトラマラソン」も2年ぶりに開催され、536人のランナーが南伊豆の魅力ある景観と特産品を提供するエイドを堪能し健脚を競いました。

いまだ新型コロナウイルス感染症の再拡大が不安視される状況にありますが、ウィズコロナ・アフターコロナに即した景気浮揚策を念頭にさまざまな観光施策を講じていきます。

※1 当記事は、令和4年11月29日から30日にかけて開催された南伊豆町議会12月定例会にて行われた行政報告を、広報誌用に一部編集したものです。日付や日程等は11月29日時点のものとなります。

要介護認定を受けた方のおむつの医療費控除について

傷病によりおおむね6か月以上寝たきりで治療を受けている方の医師が必要と認めたおむつ代は、医療費控除を受けることができます。

確定申告に必要な「おむつ使用証明書」は、かかりつけ医で発行を受けて下さい。

また、2年目以降の申告については、かかりつけ医が発行する「おむつ使用証明書」、または町が発行する「主治医意見書内容確認書」を使用できます。

ただし、「主治医意見書内容確認書」の交付を受けるには以下の交付要件に該当する必要があります。

町が発行する主治医意見書内容確認書

交付要件

以下の全てを満たす方

- ①介護保険要介護認定を受けていること
- ②対象年度の介護認定に関する主治医意見書で内容が以下に該当するもの
「障害高齢者の日常生活自立度」がBからCかつ「尿失禁の可能性」がありと記載されていること

※②の確認については事前に役場福祉介護課へお問合せください。

申請方法

印鑑と申請者の本人確認ができるものを持参し福祉介護課で申請書を記入の上、提出してください。

申請期間

1月4日(水)～31日(火)



申請・問合せ 福祉介護課 介護保険係 ☎ 62-6233

要介護認定を受けた方の障害者控除について

各障害者手帳を持っていない場合でも一定の条件を満たす方を対象として税の控除が受けられる「障害者控除対象者認定書」の交付を行います。

対象

以下の①～③全てを満たす方

- ①65歳以上で南伊豆町に住民登録がある方
 - ②要介護認定を受けている方のうち、以下の③に該当する方
 - ③対象年度の介護認定に関する主治医意見書で、
「障害者の日常生活自立度」がA以上または「認知症高齢者の日常生活自立度」がII以上に該当する方
- ※③の確認については事前に役場福祉介護課へお問合せください。

申請方法

印鑑と申請者の本人確認ができるものを持参し福祉介護課で申請書を記入の上、提出してください。

申請期間

1月4日(水)～31日(火)

申請・問合せ 福祉介護課 介護保険係 ☎ 62-6233

国民年金保険料の納付は口座振替での 早割・前納がお得です

国民年金保険料を納付する際、口座振替の早割・前納を利用すると納付額の割引があります。

早割は月50円（年間600円）お得です

国民年金保険料の納付期限は翌月末ですが当月末に口座振替する方法のことを「早割」といいます。早割の申込は随時受け付けていますのでご活用ください。

※現金納付の場合は当月末までに納付していただいても割引はありませんのでご注意ください。

まとめて前納はさらにお得！

国民年金保険料を納付する際に6か月分、1年分、2年分をまとめて納付する「前納」はさらにお得です。前納は口座振替だけでなく現金納付も可能ですが、口座振替の方が割引額も多くなるためお得です。

口座振替のお申し込みは、申込期限までに口座振替申出書を提出してください。口座振替申出書は年金機構ホームページ、口座振替を行う金融機関、役場町民課にて配布を行っています。

	現金支払の場合	口座振替の場合	割引額	口座振替申出書申込期限
6か月前納付	99,540円	98,410円	1,130円	8月末、2月末
1年前納付	199,080円	194,910円	4,170円	2月末
2年前納付	397,320円	381,530円	15,790円	2月末

※保険料は毎年度変わります。記載の国民年金保険料は令和4年度のものです。

なお、「口座振替」に関する詳しい内容は日本年金機構ホームページをご覧ください。

●日本年金機構ホームページ <https://www.nenkin.go.jp/>

問合せ 三島年金事務所 ☎055-973-1166
町民課 住民年金係 ☎62-6222

地域おこし協力隊活躍中！

新年のご挨拶

皆さま、新年明けましておめでとうございます。令和5年が活気に満ちあふれ、たくさんの喜楽をもたらす1年になることを祈願しています。

さて、昨年私の活動についてですが、活動主体としている伊浜地区での耕作放棄地の開墾と無農薬レモンの栽培は、「レモンでも植えよう会」というイベントとして、植樹と鳥獣害対策柵の設置を5月、10月、11月の3回に分けて開催しました。累計100本のレモン苗の定植と、11月に行った3回目のイベントでは天気に左右されましたが、伊浜トコリンピック世界大会との初共同開催を行うことができたので、とてもうれしく思っています。

また、10月から12月にかけて、未来伊Zu Campus主催の大人のための農業実践講座の講師として、及ばずながら座学および実技の指導をさせていただきました。

本年は、レモン圃場の栽培面積の拡大を目指します。1年目に直面した課題をクリアし、波勝崎の美しい石畳の景観再生と伊浜地区のさらなる復興に努めたいと考えてます。

そして、町の耕作放棄地の利用に貢献するために、少しでも興味や関心が芽生えるような一般の方向けの農業講座を開催し、畑作に携わる人口増加に関わることができればと思っています。皆さまにおかれましては、協力隊として就任したその日から手厚いサポートと応援をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本年も皆さまの想いと期待を胸に活動に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



伊浜区での作業の様子です

地域おこし協力隊 田村

問合せ 地方創生室 ☎62-1121

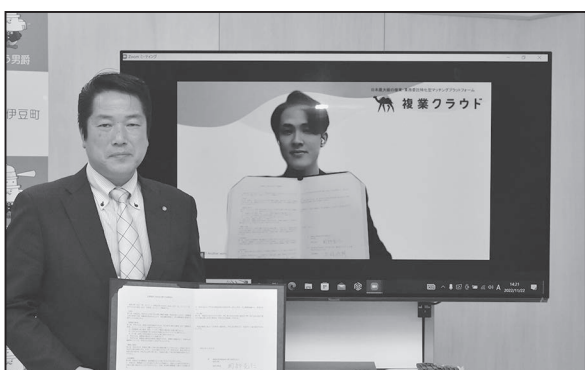


11/16 長い間ありがとうございました



平成24年12月から約10年にわたり町の各種監査を行ってきた高橋正明監査委員が、11月末日付けで退任し、町長から長期にわたる業務への従事に感謝と労いの言葉とともに花束が渡されました。

11/22 複業クラウド協定締結



町は株式会社アナザーワークスと民間複業人材活用に関する連携協定を締結しました。今後、南伊豆町で活躍を希望する複業人材が流入し、地域産業の活性化や情報発信が見込まれます。

12/3 市町対抗駅伝ふるさと賞受賞



静岡市内で第23回しずおか市町対抗駅伝が開催され、南伊豆町代表選手たちが静岡市内を駆け抜けました。本大会では町の部6位に入賞し、南伊豆町史上初のふるさと賞^{※1}を受賞しました。

※1 人口1万5千人未満の市町で1位が対象

11/21 育てた果実でドレッシング作り



下田高校南伊豆分校食品製造コースの3年生8名が、南豆味会と共に実習等で育てたウメやキウイを活用したオリジナルドレッシング作りに取り組みました。

12/1 大きなダイコン、とれました！



下田高校南伊豆分校の生徒と南伊豆認定こども園の園児が協力し、ダイコンを収穫しました。園児たちは分校生の力を借りながら大きく育ったダイコンを楽しそうに引き抜きました。

12/5 ヤシのコモがけ



奥石廊崎で越冬に向けてヤシ47本にコモがけが行われました。奥石廊崎は冬季に強い西風が吹くため、ヤシが枯れないよう毎年12月にコモをかけて越冬に備えます。

100歳のお誕生日おめでとうございます

10月25日生まれの飯田秋子さんと11月22日生まれの高野久司さんが100歳のお誕生日を迎え、岡部町長がお祝いに駆けつけ花束を贈りました。



飯田秋子さん（みなとの園）



高野久司さん（下賀茂）

お知らせ

第14回伊豆農業研究センター 公開デー

日時 2月4日(土) 9:30~15:00
場所 東伊豆町稲取3012伊豆農業研究センター
内容 施設の一般開放、各種研究成果の展示、新カンキツ類の試食
その他 農作物の販売は行いません。試食（予約制）の詳細についてはホームページをご確認ください。
申込・問合せ 伊豆農業研究センター
 ☎ 0557-95-2341
<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-840>

広報みなみいず 広告欄

うちの子「結婚」しないのかしら?

独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

☎ 055-946-6072

結婚相談所 ムスベル

広報みなみいずに広告を掲載しませんか?

●価格

1枠1か月3,000円

●バナーの規格

大きさ 縦3.5cm、横5.5cm

グレー、シアン、ライトシアンの3色

●問合せ

企画課情報政策係 ☎ 62-6288

※掲載している広告内容に関して責任は広告主に帰属し、町が推奨または保証等をするものではありません。

1月10日は「110番の日」です

110番は、事件・事故などの緊急時のためのものです。緊急性の無い相談や照会などは、警察署もしくは交番、または#9110にお問い合わせください。

問合せ 下田警察署

☎ 27-0110

静岡県士業種連絡交流会主催「無料合同相談会」の開催

日時 2月4日(土) 10:30~15:45
場所

東部会場 沼津労政会館（沼津市高島本町1-3）

中部会場 静岡県司法書士会館（静岡市駿河区稲川1-1-1）

西部会場 浜松市市民協働センター2階（浜松市中区中央1-13-3）

内容 法律、登記、境界、税務、土地価格、企業会計、労働・年金、特許・意匠・商標などの各種相談
対象者 静岡県民

定員 各会場先着56人(事前予約制)

申込方法 1月23日(月)までに電話で申し込み

その他 新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止する場合があります。

申込・問合せ 公益社団法人静岡県不動産鑑定士協会

☎ 054-253-6715

平日 9:00~17:00まで

上級救命講習の開催

日時 2月26日(日) 8:30~17:30
場所 下田消防庁舎3階防災対策室
内容 心肺蘇生法（成人・小児・乳児・新生児対象）、AED使用法、傷病者管理、手当の要領・搬送法
対象者 下田消防署管内に在住または在勤の方20名(先着順)

申込方法 2月12日(日) 9:00から下田消防庁舎2階事務所または西伊豆消防庁舎1階事務所まで、受講される方が直接お越しの上お申し込みください。

その他 受講料は無料です。講習終了時に効果測定を実施します。プログラムは下田消防本部ホームページで確認できます。

問合せ 下田消防署（救急係）

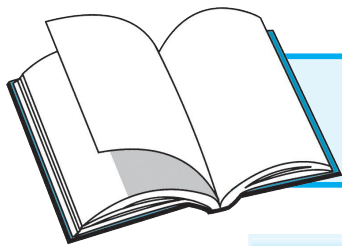
☎ 22-1804

巡回交通事故相談の開催

日時 1月27日(金) 11:00~15:00
場所 下田市役所 会議室
内容 静岡県交通事故相談所の相談員が、交通事故に関する賠償額の計算や示談の進め方などについてアドバイスを行います。

申込方法 1月24日(火)までに以下まで電話で申し込み

申込・問合せ 下田市役所防災安全課 ☎ 36-4145



図書館だより

開館時間 8:30~17:15

休館日 月曜日・木曜日・祝日

☎ 62-7100 FAX 62-1402

今月のおすすめ図書



「特撮全史1980～90年代」

講談社編／講談社

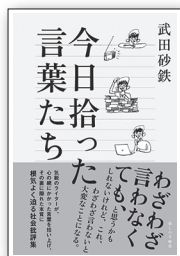
植民地での布教、仏像の供出、軍への多額の寄付…。なぜ仏教は戦争に加担したのか。各地に残る戦争の痕跡を辿り、日本仏教界最大のタブーに迫る。



「麻阿と豪」

諸田玲子／PHP研究所

「すべては家名存続のために」前田利家の2人の娘、麻阿と豪。乱世を生き抜き、前田家生き残りのため姉妹は波乱の人生を歩んでいく…。



「今日拾った言葉たち」

武田砂鉄／暮らしの手帖社

新聞、テレビ、ラジオ…。世の中で語られる様々な言葉から、心の網にかかった言葉を拾い上げ、その本質に迫る社会評論集。



「仕掛島」

東川篤哉／東京創元社

遺言を巡る殺人。さらに幽霊の目撃、鬼面の怪人の跳梁、そして人間消失。瀬戸内の孤島を舞台に巻き起こる不可思議な出来事の裏には驚きの真相が…。



「老人をなめるな」

下重暁子／幻冬舎

「ホタテをなめるなよ」ではなく「老人をなめるなよ」80歳を越えた著者が、高齢化ニッポンが抱える問題をズバッと解決。もう若者は信じない…。



「ヘルンとセツ」

田淵久美子／NHK出版

ラフカディオハーンと小泉セツ。異文化を越えた二人の奇跡の出会いから、「怪談」発表までの感動秘話。怖いけど泣ける…。



「認知症世界の歩き方」

寛裕介／ライツ社

「知らないま～ちを旅してみ～たい」あなたも認知症の世界を旅してみませんか？認知症のことを楽しみながら学べる一冊。



「我、鉄道を拓かん」

梶よう子／PHP研究所

明治の初め、新政府が決定した日本初の鉄道計画。その一部区間は海上を走らせるものであった。至難の任務に挑んだ男たちの熱き物語の結末は…。



「最高の髪型解剖図鑑」

篠原龍／エクスナレッジ

あの人たちは知っているに違いない。演歌歌手、軍事評論家、深夜番組の司会者…。自分に似合う髪型を見つける方法とは？



「私はいだんだん氷になった」

木爾チレン／二見書房

実父の死、学校でのいじめ、義父による性暴力。凄絶な現実から逃避した少女たちの居場所とは…。禁断の黒歴史ミステリー。

新着図書案内

老いの品格

和田秀樹

ぼくらの戦争なんだぜ

高橋源一郎

メガバンク銀行員ぐだぐだ日記

目黒冬弥

墓じまい！

小西正道

水俣病闘争史

米本浩二

農家が教えるタケノコづくし

農文協編

猫が30歳まで生きる日

宮崎徹

切手デザイナーの仕事

間部香代

吉原と外

中島要

夏日狂想

窪美澄

たとえば、葡萄

大島真寿美

レッドゾーン

夏川草介

武蔵

稲葉稔

シャムのサムライ山田長政

幡大介

もののふの国

天野純希

図書館利用案内

2022年のベストリーダーは？

2022年、最も多く読まれた本の発表です。あなたは何冊読みましたか？

★小説・エッセイ

1位 母の待つ里

浅田次郎

1位 残照の頂

湊かなえ

2位 透明な螺旋

東野圭吾

2位 探花

今野敏

2位 失われた岬

篠田節子

★実用書

1位 いちばん美しい季節に行きたい日本の絶景365日

TABIZINE

1位 70歳が老化の分かれ道

和田秀樹



メディカル通信

新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。南伊豆町の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

当院は昨年新型コロナ対応に追われた1年でした。第7波のさなかである昨年8月には、ついに病棟でクラスター感染が発生しました。当該病棟を閉鎖して幸いにも1カ月弱で乗り越えることができましたが、この間、一時的に一部の救急患者さまの受け入れを中断せざるを得なくなり、地域住民の皆さまには多大なご迷惑をおかけする結果となりました。「何としても院内クラスターだけは起

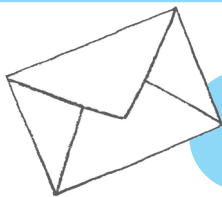


すまい」との思いのもと、水際で感染対策を行いながらも起きてしまったことは残念でしたが、この経験の中から得た数多くの学びや気づきを今後の感染対策に生かしていきたいと考えています。

2023年もよりいっそうの努力をしつつ、感染対策を含めた安定的な医療提供体制の構築に取り組んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長 伊藤 和幸

問 下田メディカルセンター
☎ 25-2525



姉妹都市だより

長野県塩尻市

古代の遺跡で光の回廊

かつて「日本三大遺跡」といわれた塩尻市の平出遺跡公園でライトアップイベントを開催します。

竪穴式住居や高床式倉庫などの復元住居が古代ロマンとともに闇に照らし出されるほか、復元住居までの遊歩道にも約200基の灯籠が飾られ、訪れた皆さんを幻想的な光の風景に誘います。

■期日 1月27日(金)・28日(土)

■時間 午後6時～8時

■入場料 無料

※1月の塩尻市は気温0度を下回ります。防寒対策を万全にしてお越しください。また、足元が悪くなる場合もありますので、ご注意ください。

※駐車場に限りがあります。

問 塩尻市観光課

☎ 0263-52-0786



1月は、町県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。

税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

戸籍の窓

結婚お幸せに

地区	お名前(旧姓)	婚姻日
下賀茂	平山 太一・友里絵(深澤)	11.1
手石	外岡 大門・遥佳(桑原)	11.24

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
下賀茂	渡邊 和子	95	10.31
石井	鈴木 れい	92	11.1
青野	進士 房江	96	11.9
一條	高橋 ふさ江	79	11.8
市之瀬	井上 三男	83	11.10
湊	横山 トキ子	101	11.11
加納	東 喜久子	85	11.19
湊	山田 孝之	62	11.21
青市	小山 いね子	94	11.22

令和4年11月1日から30日までに届け出のあったもの(敬称略)

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(12月1日現在)

世帯数 3,886 世帯
人口 7,735 人(-15)
男 3,720 人
女 4,015 人

----- (11月中) -----

転入 15 転出 12
出生 2 死亡 20

健康レシピ ～餅ピザ～

毎月19日は
食育の日！



栄養価（1人） エネルギー：204kcal タンパク質：5.5g
脂質：7.2g 塩分：0.6g

▷ 材料 2人分

切り餅…2個
ピーマン…1/2個
みじん玉ねぎ…小さじ2
ソーセージ…1本
油…適量
ケチャップ…小さじ2
ピザ用チーズ…20g



▷ 作り方 ◁

- ①切り餅は厚さが半分になるように切り、ソーセージとピーマンは輪切りにする。
- ②アルミホイルを広げて油を薄く塗り、切り餅を並べる。ケチャップを塗り、ソーセージ、みじん玉ねぎ、ピーマン、ピザ用チーズをのせる。
- ③オーブントースターに入れ、切り餅が柔らかくなるまで焼く。



★ここがポイント！

ソーセージの代わりに、ベーコンやハムでも代用可能です。他の野菜やコーン等も加えたりとさまざまなバリエーションを楽しめます。

なすみかい
南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）
問合せ 健康増進課 ☎62-6255

健康一口メモ

免疫力を高めましょう！

免疫力とは、体内に侵入したウイルスや細菌などを異物として認識し、排除することで自分自身の身体を守ろうとする力のことで、免疫力が低下するとさまざまな病気にかかりやすくなります。

特に冬は、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症にかかりやすい時期でもありますので、以下のポイントを心がけ、免疫力を高めて感染症にかからない健康的な冬を過ごしましょう。

●免疫力を高める生活習慣のポイント

- ①栄養バランスのとれた食事
- ②適度な運動
- ③質の良い睡眠
- ④ストレスを溜め込まない
- ⑤禁煙



問合せ 健康増進課 健康増進係
☎62-6255

スマイルキッズ



は お
湊 木下 華乙 くん（1歳6か月）

「外遊び大好き！
どうさんすべり台もお気に入り♪」

広報みなみいず 1月号

発行日／令和5年1月1日
発行／南伊豆町 編集／企画課 印刷／(有)サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1

TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<https://www.town.minamiizu.shizuoka.jp>